

新田東総合運動場 3×3バスケットボールコート新設工事 仕様書

1. 業務名称

新田東総合運動場 3×3バスケットボールコート新設工事

2. 工事場所

〒983-0039 仙台市宮城野区新田東4丁目1番1号（新田東総合運動場 敷地内）

3. 工事期間

契約締結後から令和8年6月19日まで

4. 工事目的

本工事は、当施設敷地内に3×3バスケットボールコートを新設するものであり、敷地造成、雨水排水設備、舗装、緑石、防球フェンス、競技施設等の整備を行う。施工にあたっては、安全性・耐久性・維持管理性に配慮し、既存施設との調和を図ることを基本とする。

5. 一般事項

- 本工事は、本仕様書に基づき施工するとともに、建築基準法その他関係法令を遵守すること。また、本仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の各共通・特記仕様書(最新版)及び工事標準図(最新版)等による。
- 3×3バスケットボールコートのレイアウト、主要寸法、ライン構成等
 - 公益財団法人日本バスケットボール協会（JBA）が定める「3×3 バスケットボール コート仕様」を参考とし、これに準じた配置とすること。ただし、現地条件に応じて調整が必要な場合は、発注者と協議の上で決定するものとする。
- バスケットゴール・フェンス及び門扉の基礎の施工
 - 採用する製品のメーカーが示す標準仕様または推奨基礎寸法に従って施工すること。
 - 支柱の埋設深さ、支柱の間隔、基礎断面寸法、鉄筋補強及びコンクリート強度は、製品の性能（耐風圧強度、安定性等）を満たすよう、メーカー標準値を遵守すること。
 - 施工にあたっては、設置環境（地盤条件・隣接構造物等）に応じて必要な補強を行うこと。
- 施工前に工程表の他、下記の図面を提出し、工事内容の承認を得てから施工に入ること。
 - 位置図
 - 排水図／側溝・集水桝の位置、排水方向および勾配を示した平面図・横断図

- 3×3 コート平面図・断面図
- バスケットゴール構造図・フェンス構造図・門扉構造図
- 舗装構造図
- 本工事において設置するバスケットゴール（ロングアーム式）、緩衝材およびゴールネットは、株式会社仙台 89ERS が提供する支給品とする。施工業者は、当該支給品を用い、発注者の指示および本仕様書に基づき、基礎工事、組立、据付その他必要な作業を一体的に実施するものとする。なお、支給品の搬入時期および施工スケジュールについては、工事の進捗状況を踏まえ、発注者および株式会社仙台 89ERS と協議のうえ決定するものとする。
- 施工時、著しく騒音、振動を発生する機械・器具等を使用する場合には事前に承認を得ること。
- 本工事及び本業務に伴う発生材は、受注者側の責任及び費用負担において産業廃棄物として適正に処理し、マニフェストの写しを提出すること。

6. 特記事項

- 工事期間中、場内の各施設は通常利用を行っているため、利用者への安全対策に十分配慮するとともに、安全確保を確実に行うこと。
- ミキサー車や圧送ポンプ車など重機の搬送・使用時については、必ず誘導員を配置するものとし、その他工事期間中についても必要に応じて誘導員を配置し、安全に十分配慮の上、事故防止に努めること。
- 原則、電気、水道使用等の費用については、当施設が負担することとするが、大量に使用する場合は、別途協議して決定する。
- 工事施工にあたっては、当該工事敷地及び現場周辺道路などの搬出入道路についても、適切な養生を行うものとする（落下した土砂等の撤去・清掃含む）。

7. 工事内容

(1) 敷地造成工（約 350 m³）

- 施工区域の地盤整形を行う。掘削はオープンカット方式とし、約 350 m³（別紙「3×3 コート造成図」参照）を施工する。
 ※敷地の一部には、道路舗装面より推測で 60cm 以下の位置に上水・中水の埋設管が存在しているため、施工前に現況確認及び試掘を行い、既設管を損傷しないよう十分注意し、施工すること（別紙「屋外配管図」参照）。なお、施工に起因して既設管を損傷した場合は、復旧費用を含め、施工者の責任とする。
- 掘削後は、路床を所定の高さおよび勾配に整形し、均一な支持力を有するよう十分に転圧する。
- 発生残土は、積込・運搬・処分を一連の作業として行う。
- 残土は飛散防止措置を講じたうえで、法令に基づく適正処分場へ搬出する。

(2) コート舗装工 (238 ㎡)

不陸整正

- 舗装施工前に地盤の不陸を整正し、均一な面を形成する。

路盤工

- 再生碎石 (RC-40) を用い、 $t=150\text{mm}$ で施工する。

基層工

- 粗粒度アスファルト混合物 20 ($t=40\text{mm}$) を施工する。継目処理及び転圧を十分に行う。

表層工

- 密粒度アスファルト混合物 13F ($t=30\text{mm}$) を施工し、均一な仕上がりを確認する。

全天候舗装仕上げ

- 舗装仕上げは、アスファルト舗装上に施工する屋外スポーツ用の全天候型表面材 (アスファルト系又はアクリル系) とし、下塗・中塗・上塗の 3 層、総厚 1.0mm 以上とする。
- 滑り抵抗値 (BPN) 55 以上 (乾燥時) を満足し、1000 時間の促進耐候でひび割れ・剥離・著しい変色がないこと。
- コートの塗装は 2 色とし、協議のうえ決定する。
- 仕上色は指定色とし、塗装は 3 回塗り (ローラー又はスプレー) で各層乾燥を確認して施工する。
- 施工後は目視と滑り抵抗試験で性能を確認する。

コートライン

- コートラインは舗装完了後に施工するものとし、屋外スポーツ用アクリルまたはウレタン樹脂系塗料を使用する。
- 塗料は耐摩耗性・耐候性に優れ、日射や摩擦による変色・剥離を生じないものとする。
- 施工方法：舗装面を清掃し、プライマー塗布後、テープ養生のうえ 2 回塗り均一に仕上げる。
- 色彩：白色または指定色とし、視認性を確保する。
- 精度：位置誤差 $\pm 10\text{mm}$ 以内、にじみ・ムラ・塗り残しのないこと。
- 耐候性：促進耐候試験 1000 時間で、ひび割れ・剥離・著しい退色を生じないこと。

(3) コート周辺舗装工 (112 ㎡)

- 既設地盤を整地・転圧し、路盤 (再生碎石 RC-40/ $t=50\text{mm}$) を敷均し・転圧すること。
 - 簡易舗装 (密粒度アスファルト混合物 13F/ $t=30\text{mm}$) を施工すること。
- ※本舗装は 歩行・観覧用であり、車両の乗入れは想定しない。

(4) 雨水排水設備工

側溝工

- コンクリート製 U 形側溝 (U-240 相当、コンクリート蓋付) を設置する。
- 設置に際しては、縦断勾配を 0.5% 以上確保し、蓋天端が舗装面と一致するよう施工する。
- 据付け後、ジョイント部はモルタルで充填し、排水の流下を妨げないよう仕上げる。

集水桝・流末接続

- グレーチング蓋付の集水桝を1箇所設置し、コート面からの排水を確実に集水できるよう配置する。
- 桝から接続管を布設し、既設管との接続部には止水処理を行う。

(5) 縁石工

- 舗装端部の保護および区画整理のため、コンクリート縁石(120×120×600mm)を設置する。
- 設置にあたっては、基礎モルタル上に据付け、通り・高さを正確に管理する。
- 目地はモルタルで充填し、端部の仕上げを丁寧に行う。

(6) 競技設備

- ゴール(ロングアームタイプ)を1基設置する。基礎は鉄筋コンクリート構造とし、リング高さ3.05mを確実に確保する。
- ポール部には発注者が提供する緩衝材を1本設置し、安全性を確保する。
- 据付後、垂直度および剛性を確認し、アンカーボルトの緩みがないよう点検する。

(7) 防球フェンス・門扉・看板設置工

防球フェンス

- コート周囲には、JFE「Neo ロータフェンス NER-A 型」またはこれと同等以上の性能を有する金属製フェンスを設置する。
- フェンスはメッシュパネルまたは金網パネル構造とし、強度・耐風性・耐衝撃性に優れ、長期的な屋外使用に適するものとする。
- フェンスは以下の通りとする。
 - ・高さ6.0m×延長17.0mを1式(ゴール背面の1面〔エンドラインから2.0mの位置〕)
 - ・高さ4.0m、延長45.0mを1式(ゴール背面以外の3面〔コートラインから1.0mの位置〕)
- フェンスパネルは上・中・下の適切な位置で補強材または張線により確実に固定し、たわみのない状態で施工すること。
- 施工後、フェンスパネルの平滑性、固定状態、支柱の垂直・水平精度、表面損傷の有無を点検すること。

両開き門扉

- フェンスの出入口には、フェンス本体と同質・同色の両開き門扉を設ける。開口幅1,800mm・高さ2,000mmとし、既存の歩道に近い位置に設置する。
- 扉枠は、耐食性・耐衝撃性に優れた構造とする。
- 開閉はヒンジ固定方式とし、掛金・落とし棒を備えて確実に施錠できる構造とする。
- 施工後、扉の開閉動作、水平・垂直精度、固定金物の堅牢性を点検すること。

看板

- 発注者が提供する「利用上の注意事項」を記載した看板をフェンスの一部に設置する。設置位置については、施工前に発注者と協議の上、決定する。

(8) 外構復旧

- 施工区域周辺の清掃・整地を実施する。
- 完了後、全体の排水勾配と外観を確認し、施設全体の安全性と景観を確保すること。

8. 品質管理

各工程完了時に、発注者の立会いによる検査を実施すること。

- コート舗装工の施工状況・各種舗装厚
- 塗料の材料検収
- フェンスと基礎の材料検収
- 排水機能・側溝検収
- コート寸法（ライン含む）・ゴール設置施工状況

9. 業務完了

- 工事完成後は、施工区域周辺の整地・清掃を行い、全体の排水勾配を再確認し、滞水がないことを確認する。
- 速やかに、完了届、完成図面（位置図・平面図・各種構造図等）、工事写真(施工前、施工中、施工後)を各2部提出し、検査を受けること。検査に合格した時をもって業務完了とする。

10. 支払方法

- 業務完了後の翌月払いとする。

11. その他

- 本仕様書に定めのない事項については、両者協議のうえ取り決めるものとする。
- 現場条件により変更が生じた場合は、発注者の承認を得た上で施工方法を調整すること。
- 竣工後1年間は、施工に起因する不具合について無償で補修を行うものとする。

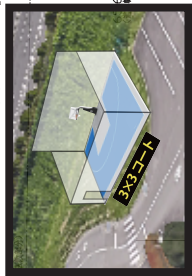
12. 発注者

公益財団法人仙台市スポーツ振興事業団

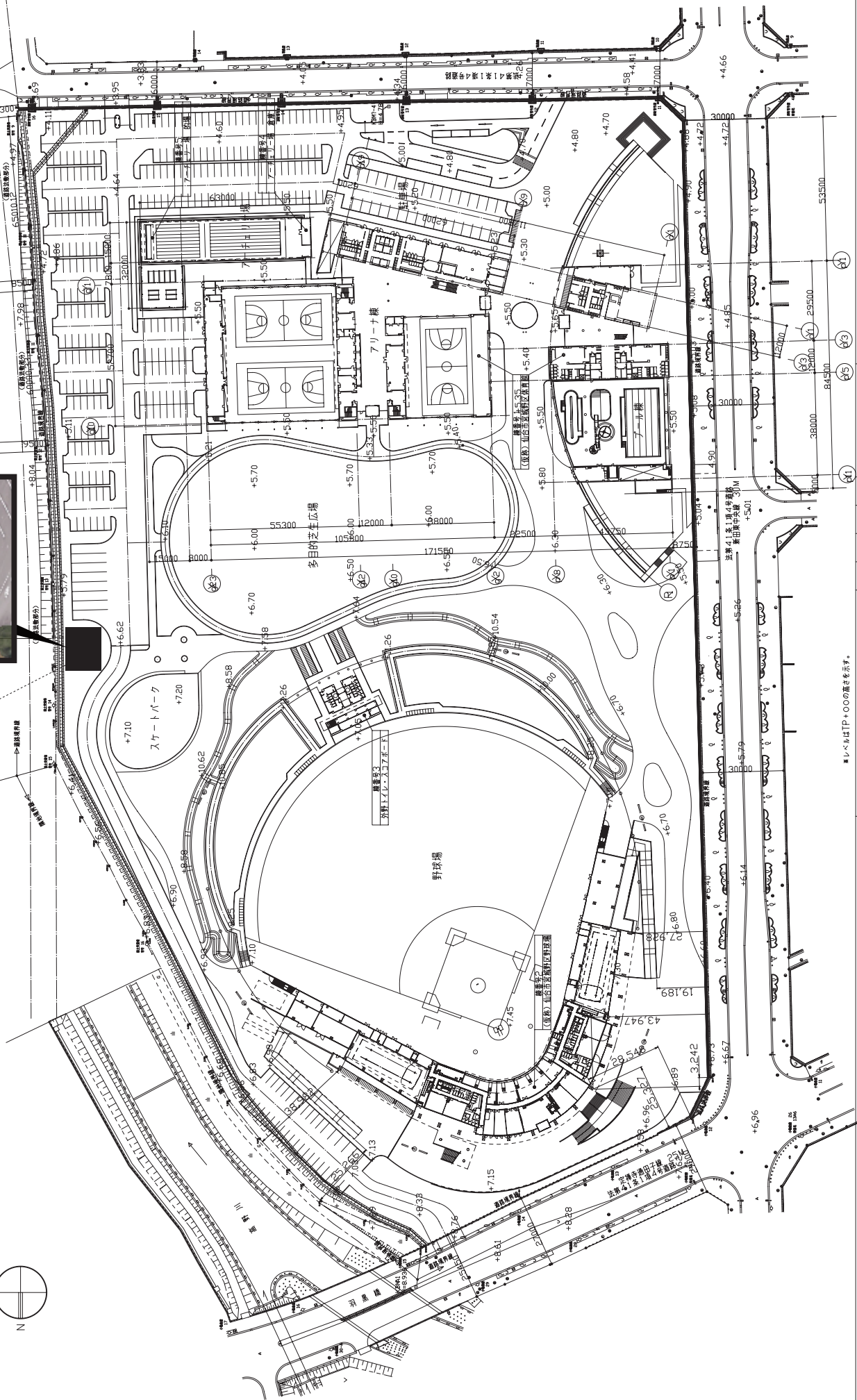
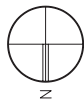
仙台市青葉区錦町一丁目3番9号3階） TEL：022-215-3201 FAX：022-215-3575

新田東総合運動場 3×3コート位置図

イメージ図



予定地 (14m×17m)



※レベルはTP+0.0の値を示します。

仙台市都市整備局公共建築部管理課
大建設計・ドローン共同企業体

実施設計 担当

仙台市都市整備局公共建築部管理課
大建設計・ドローン共同企業体

縮尺 (A1) 1/700

発注年月日 2004. 3

工事名称

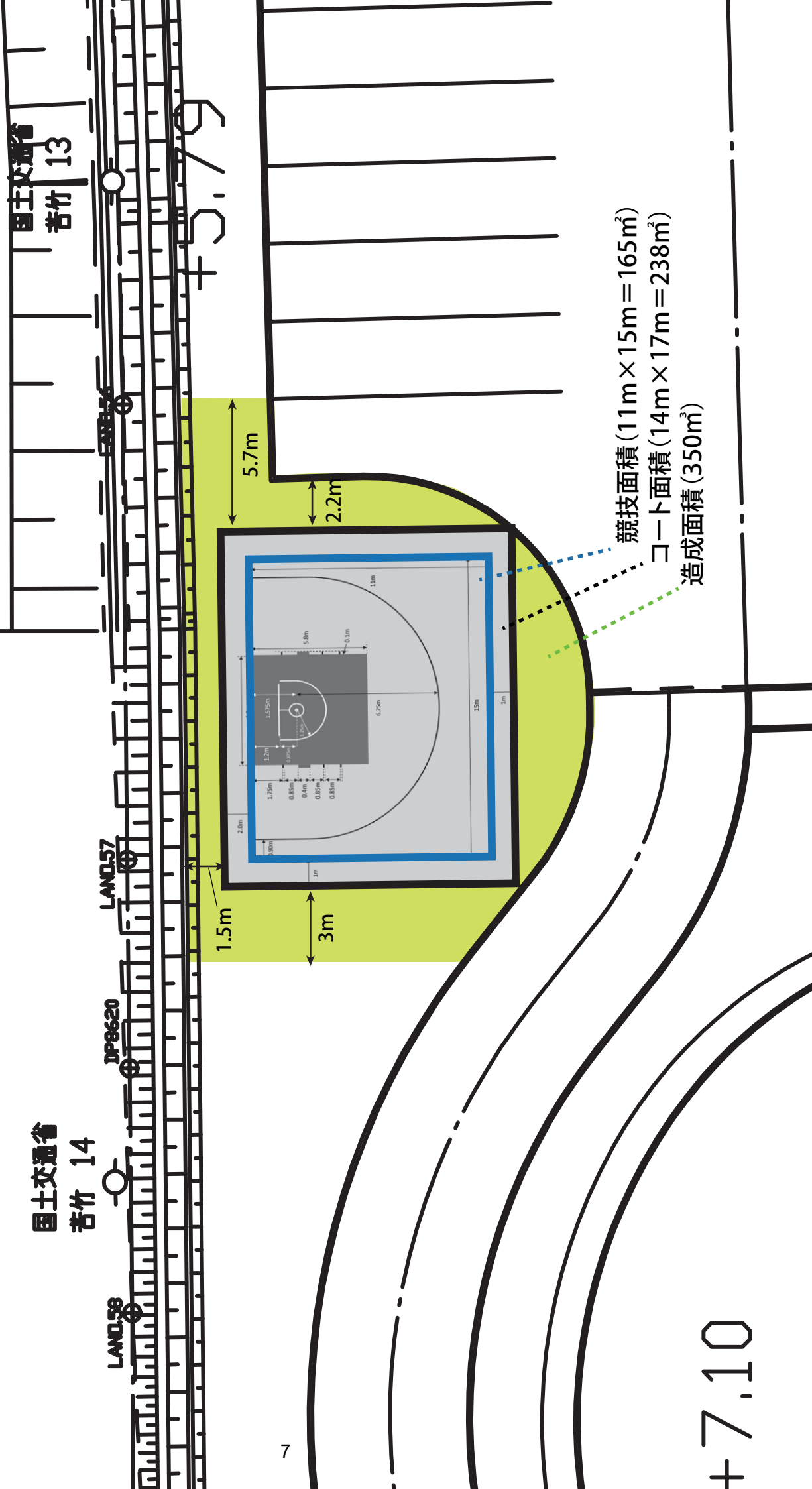
(仮称) 仙台市宮城野区体育館新築工事

図面名称

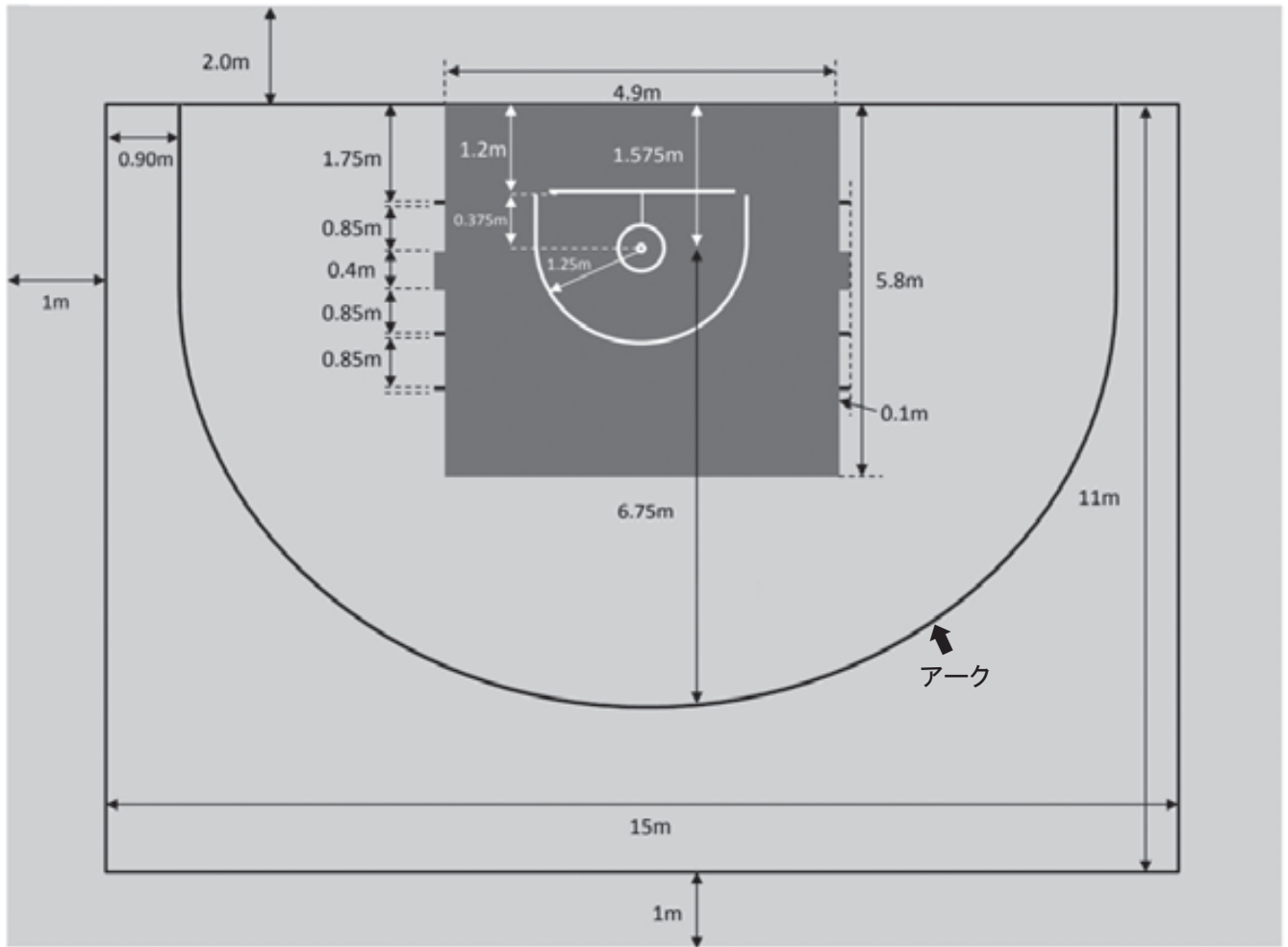
配置図

No. A-009

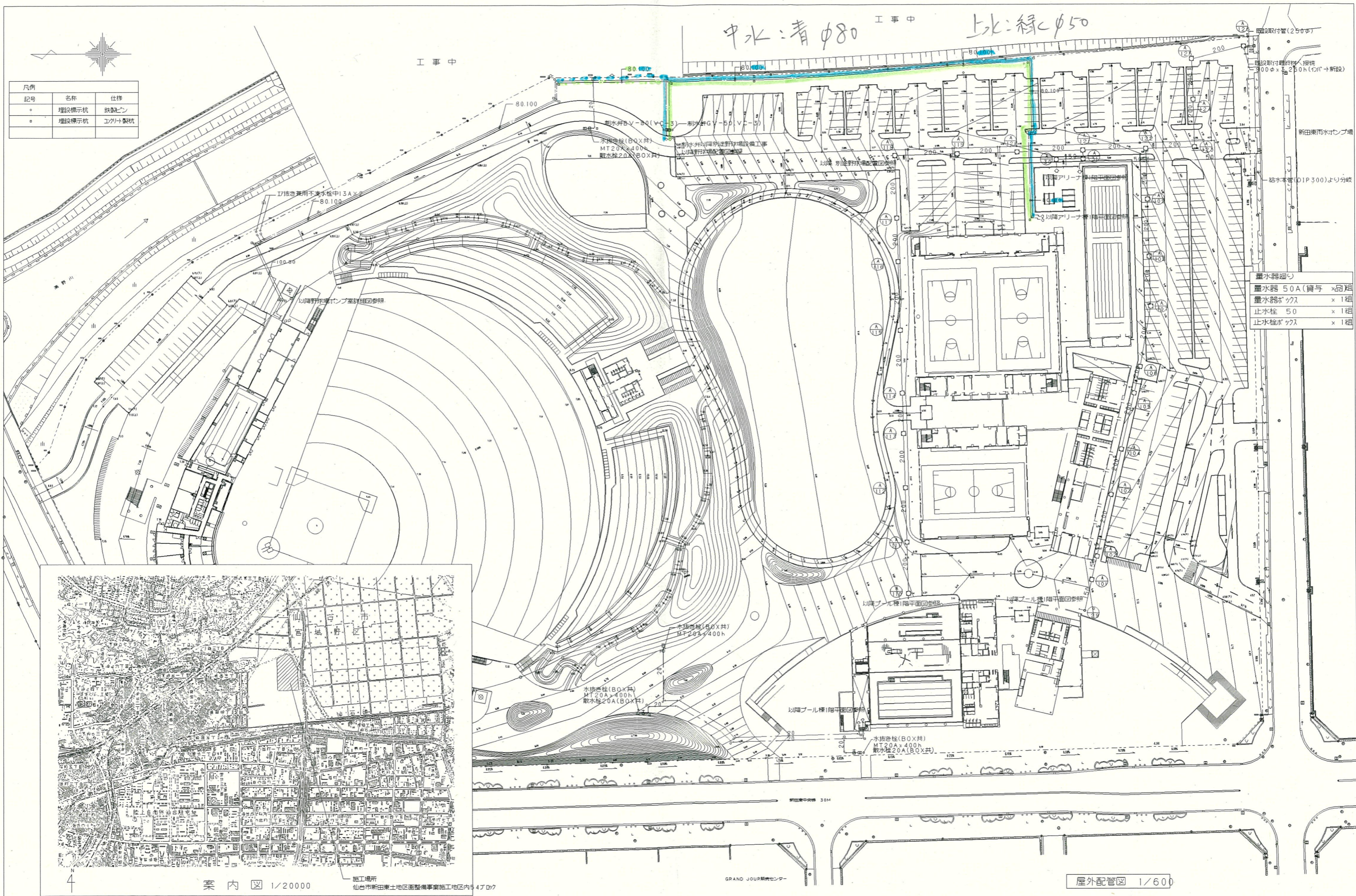
〈道路法敷部分〉



3x3コート図

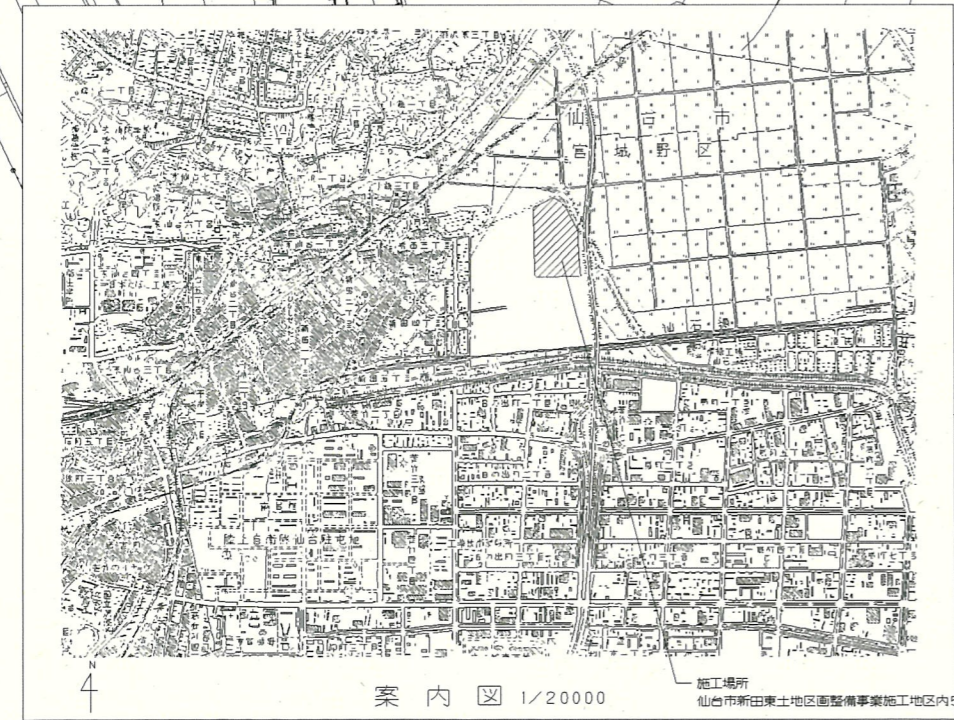


(公財)日本バスケットボール協会 3x3バスケットボール競技規則



凡例

記号	名称	仕様
○	埋設標示杭	鉄製ピン
□	埋設標示杭	コンクリート製杭



量水器廻り

量水器 50A (管径 φ50)	× 1組
量水器ボックス	× 1組
止水栓 50	× 1組
止水栓ボックス	× 1組

